

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

| | |
|--------|-------|
| 市町村名 | 枚方市 |
| 実践研究校名 | 渚西中学校 |

【公開授業】公開日：平成25年12月5日

対象学年：第2学年

| | |
|--|--|
| (教材・教科書名) NEW HORIZON 2 (単元名) Multi Plus2 町紹介 | (本時の指導の目標) ・NETの町紹介を聞き、内容を理解する。(発展) ・町紹介のモデル文を参考にして、自分の住みたい町を英語で書き、発表する。(発展) ・既習のThere is ... There are ...の文を用いて、自分のDream Townを書くことができる。(基礎・標準) ・自分の書いたDream Townをみんなの前で発表し、友達の書いたDream Townについて質問をすることができる。(基礎・標準) |
|--|--|

(本時の授業において工夫した点)

- ・ペア活動(基礎・標準)や班活動(発展)を使い、コミュニケーションを取りやすく、また、それぞれの考えを出しやすくした点。
- ・All Englishの授業でも理解しやすいように、イラストや写真を多く使った点。(発展)

(授業を終えた教員の感想)

- ・授業はリズムを大事にしているが、writingに時間を使う授業はいつもと(リズムが)違う授業になるので、どう進めていけばよいか助言を頂きたい。(基礎・標準)
- ・以前に指導を受けたことを改善しようと、難しい英語を日本語で説明し過ぎたりしないようにパワーポイントを作ったり、質問があれば易しい英語に言い換えたり、簡潔な日本語で説明した。班活動は最後に発表する時間がなかった。(発展)

【研究協議会】

| | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| (テーマ) 小中連携を踏まえた中学校英語のあり方について | (指導・助言者) 京都教育大学 教授 泉 恵美子 氏 |
|---------------------------------|----------------------------------|

(研究協議会で出された意見)

- ・Writingは教師が生徒を見て回らないといけないが、時間を区切って取り組みのメリハリをつけていたのがよかった。
- ・班活動の時に生徒が何もしない状態にならないために、意見を交換させたり、一人一人の役割を明らかにしたほうが良かった。
- ・ワークシートの中に自己評価できるように目標を書いておくほうが良かった。

(まとめ)

1. 先生は、英語のinputをどんどんする。(ゆっくり言う、易しく言い換える)
2. 子ども同士が質問する機会を与え、疑問文をつくらせるのが効果的。
3. 自分で学べる、自立した学習者を育てる。